

JASDAQ

証券コード：4970

URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

 **TOYO GOSEI**

## 第62期 報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

 **東洋合成工業株式会社**

# Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

## ■ ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第62期期末報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期の世界経済は、中国・インドを始めとした新興国の経済成長に牽引された一方で、米国での失業率の高止まりや欧州における債務問題の深刻化に端を発した国際金融不安、一部新興国における成長鈍化等により、先行き不透明感が強まりました。

日本経済は、震災復興に伴う企業の生産活動や個人消費の回復基調は続いているものの、依然として高水準で推移する失業率や歴史的な高水準で推移した円高に加え、電力供給不安を抱えるなど、先行き不透明感が強まりました。

当社グループの主要関連業界であるエレクトロニクス業界は、中国・インドを始めとした新興国向け家電の需要継続に支えられた反面、韓国企業の台頭等に伴う液晶テレビを始めとした低価格化が進むなど、厳しい収益環境が続きました。また、汎用化学品業界は、需要に回復の兆しが見え始めました。

そのような外部環境のなか、当社グループといたしましては、持続的な成長の実現に向け千葉県東庄町及び兵庫県淡路市の新工場稼働に向けた準備を進めております。目下、千葉県東庄町へ建設中の香料工場は試運転を開始し、新興国需要の取り込み及び安定供給の継続を図ってまいります。また、兵庫県淡路市へ建設予定の淡路工場は、急速な成長が見込まれる電子・電池材料市場への参入を目指し、平成25年3月の操業開始に向けて、建設工事を進めております。

当期末の剰余金の配当につきましては、円高の継続が見込まれる可能性もあること等を総合的に勘案し、3円とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は6円となりました。当社グループといたしましては、現在、計画しております新規事業への投資の成果として収益向上を表現し、株主の皆様へ還元できるように取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 当期の連結経営成績

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円)	当期実績
売上高	13,952
営業利益	641
経常利益	524
当期純利益	384

### 【感光性材料事業】

半導体用途向け感光性材料においては、スマートフォンなどの多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、底堅く推移いたしました。液晶用途向け感光性材料は、欧米を中心とした液晶テレビの需要減速に伴うパネルメーカーの稼働率低下や、最終製品である液晶テレビの価格下落の影響を受け、売上・利益ともに低調に推移しました。

### 【化成品事業】

香料材料部門は、新興国を中心に需要は堅調に推移いたしました。一方、歴史的な円高の影響を強く受け、売上・利益とも伸び悩みました。一方、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取り込みにより売上高は好調に推移したものの、原油高の影響に加えて、生産設備の定期修繕工事に伴う稼働率低下が、利益を押し下げる結果となりました。ロジスティック部門は、お客様満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準で維持することができ、利益率は向上いたしました。

## ■ 次期の連結業績見通し (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位：百万円)	次期の見通し
売上高	15,000
営業利益	120
経常利益	20
当期純利益	0

世界経済は、欧米諸国を中心とした雇用情勢の低迷や長期化する欧州債務問題、中東諸国の政情不安等に起因した原油価格の上昇等の下振れ要因が懸念され、依然として予断を許さない状況が続くものと予想されます。日本経済は、震災復興に伴う企業の生産活動や個人消費の回復基調の継続により、景気の緩やかな回復が期待される一方、依然として高水準で推移することが予想される円高や、国内原子力発電所停止に伴う電力需給対策の動向等、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続くものと予想されます。

汎用化学品業界は、中東諸国の政情不安に起因した原燃料価格の上昇等が懸念されることから、今後も楽観を許さない状況が続くものと予想されます。

このような見通しの下、当社グループは厳しい経営環境下においても収益を生み出す事業体質の定着化を目指し、主に下記の施策に取り組んでまいります。

- ① 本社・営業部門の機能集約を通じて、意思決定スピードを速め、事業戦略の立案・展開を強化する。
- ② 営業・研究部門・生産現場の連携を強め、お客様との関係強化と拡販に努めるとともに、新たな需要を開拓する。
- ③ 生産性の更なる向上とコスト削減活動を推進し、競争力を育成する。

当社グループの更なる成長に向け、研究開発のスピードアップ及び安定的な収益基盤確保を促進し、全社を挙げてグローバル化に対応できる体制づくりに取り組みます。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく一層の業績向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



代表取締役会長

木村正輝

# Message to Our Stakeholders

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと木村有仁は、平成24年6月20日に開催された第62回定時株主総会並びに取締役会におきまして、代表取締役社長に選任され就任いたしました。

さて当社を取り巻く環境については、世界経済及び日本経済ともまだまだ厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況下ではございますが、当社は昭和29年創業以来「当社の生命線は研究開発力にある」という理念のもと、独創的な視点を大切に研究・開発を進めてまいりました。その理念を受け継ぎ、たとえ厳しい経営環境下においても、収益を生み出す事業体質の定着化を目指し、主に以下の政策に取り組む所存です。

- ①本社・営業部門の機能集約を通じて、意思決定スピードを速め、事業戦略の立案・展開を強化する。
- ②営業・研究部門・生産現場の連携を強め、お客様との関係強化と拡販に努めるとともに、新たな需要を開拓する。
- ③生産性の更なる向上とコスト削減

更に一段の社業発展に向け積極的に取組んでまいりますので、前任者同様のご指導ご支援を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

平成24年6月

## ■ 経歴

氏 名 : 木村 有仁 (きむら ゆうじん)  
生 年 月 日 : 昭和51年1月19日生  
略 歴 : 平成13年3月 東京大学大学院  
新領域創成科学研究科修了  
平成13年4月 日本電気株式会社入社  
平成15年4月 当社入社  
平成18年1月 米国サンダーバード国際経営大学院修了  
平成19年6月 当社取締役  
平成20年6月 当社常務取締役  
平成23年2月 当社常務取締役感光材事業本部長兼エネルギー事業部長



代表取締役社長

木村有仁

### ▶ 株式会社日本政策投資銀行（DBJ）による新「防災格付」を取得

当社が策定した発災前段階の災害予防策及び危機事案発生後の迅速な復旧活動を含めた事業継続計画（BCP）が評価され、株式会社日本政策投資銀行（DBJ）より化学品メーカー初の新「防災格付」を取得いたしました。当社の事業継続計画が第三者機関により高く評価を受けた証であります。

### ▶ 三次元がん細胞培養システム “Cell-able™ Oncology” の販売開始

子会社の㈱トランスパレントは、世界最大の患者由来がん細胞バンクを保有する米国企業Molecular Response LLCとの共同研究の成果を、世界最大の米国がん研究会議（2012年4月）で発表いたしました。

同時に、生体内に近い状態でがん細胞を培養できる“Cell-able™ Oncology”の販売と、患者由来がん細胞バンクを活用した創薬研究サービスを開始いたしました。

“Cell-able™ Oncology”は、新たな抗がん薬や治療方法の研究開発に大きく貢献することが期待されています。

今後も、㈱トランスパレントは最新のファインケミカルを活用して、患者と共にがんと闘っている世界中の研究者及び医療関係者に貢献いたします。

詳細内容は、トランスパレントのHP：<http://www.transparent.co.jp/>

Molecular ResponseのHP：<http://molecularresponse.com/>をご確認下さい。



### ▶ NHKニュース「おはよう日本」で当社が2度紹介されました。

- 平成24年3月9日に、千葉工場を中心に事業継続計画（BCP）を積極的に構築している企業として紹介されました。
- 平成24年4月16日に、当社高浜油槽所が、万全なリスク管理体制を構築している企業として紹介されました。

### ▶ 電力需要対策

原子力発電所停止に伴う電力供給不安への対策として、千葉工場及び市川工場内に自家発電機を設置しております。今後も社内での節電対策とお客様への安定供給に努めてまいります。



### ▶ 香料工場建設工事竣工について（香料材料事業）

- ①新興国を中心とした増大する香料材料需要の取込み
- ②新設備に伴う生産効率性の向上
- ③お客様への継続的な安定供給責任の達成

以上3つの目標を達成すべく香料工場を竣工いたしました。  
 当社の更なる発展に貢献すべく、安心・安全な操業に努めてまいります。

- － 敷地面積 約25,000平方メートル
- － 所在地 千葉県香取郡東庄町宮野台



### ▶ 淡路工場建設着工について（グリーンケミカル事業）

- ①関西地区における電子・電池材料需要の取り込み
- ②工場立地リスクの分散と安定供給責任の達成

以上2つの目標を達成すべく淡路工場の建設に着工し、当社の更なる発展を目指します。

- － 敷地面積 約50,500平方メートル
- － 所在地 兵庫県淡路市生穂新島



### ▶ 西日本営業所開設について（グリーンケミカル事業）

淡路工場建設をはじめとした当社の西日本地区進出戦略の一環として、西日本営業所を新大阪駅前に開設いたしました。西日本営業所を関西市場での営業戦略の拠点として位置づけ、更なる売上の増大及び当社の更なる発展を目指します。

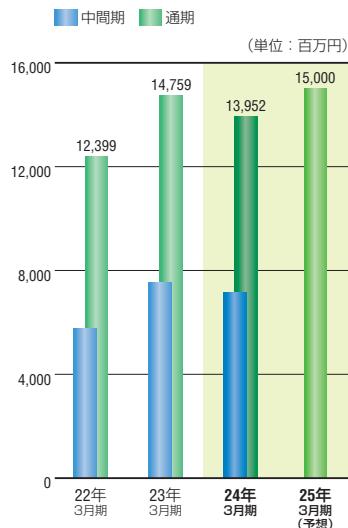
- － 所在地 大阪府大阪市淀川区宮原



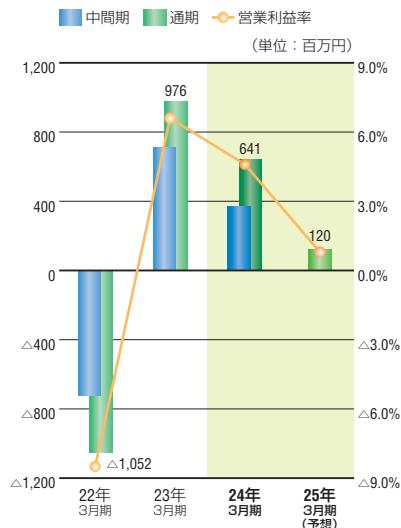
# Financial Highlight

## 財務ハイライト

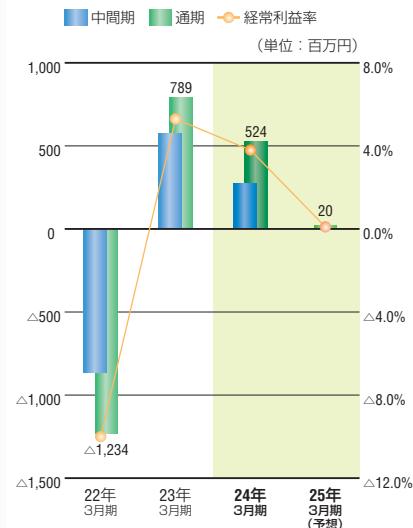
### 売上高



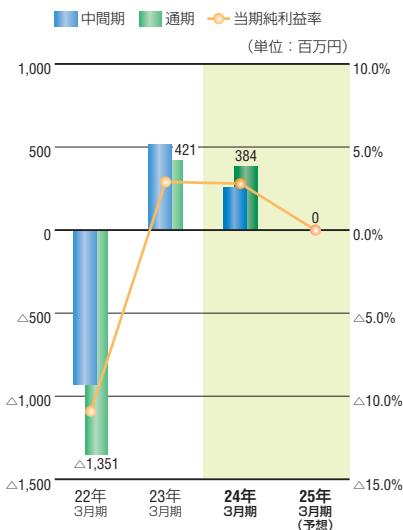
### 営業利益 営業利益率



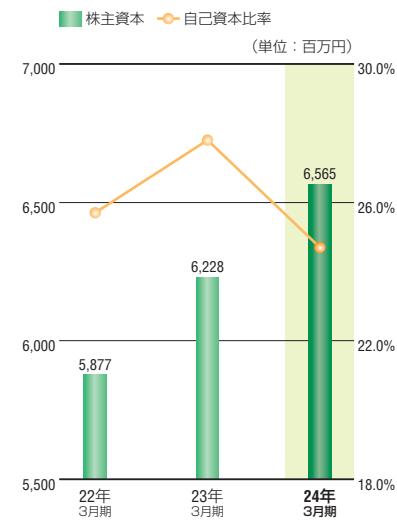
### 経常利益 経常利益率



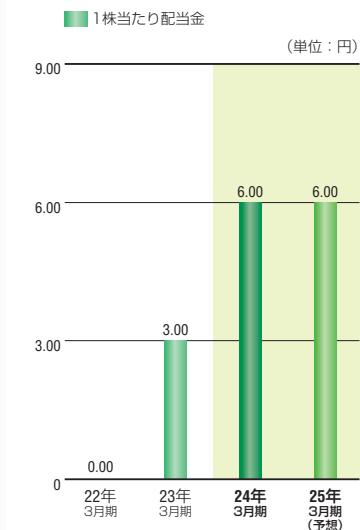
### 当期純利益 当期純利益率



### 株主資本 自己資本比率

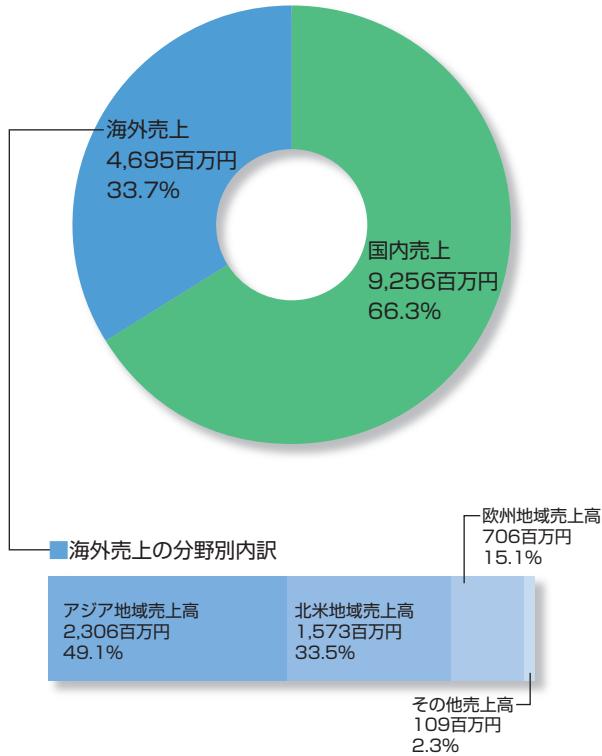


### 1株当たり配当金

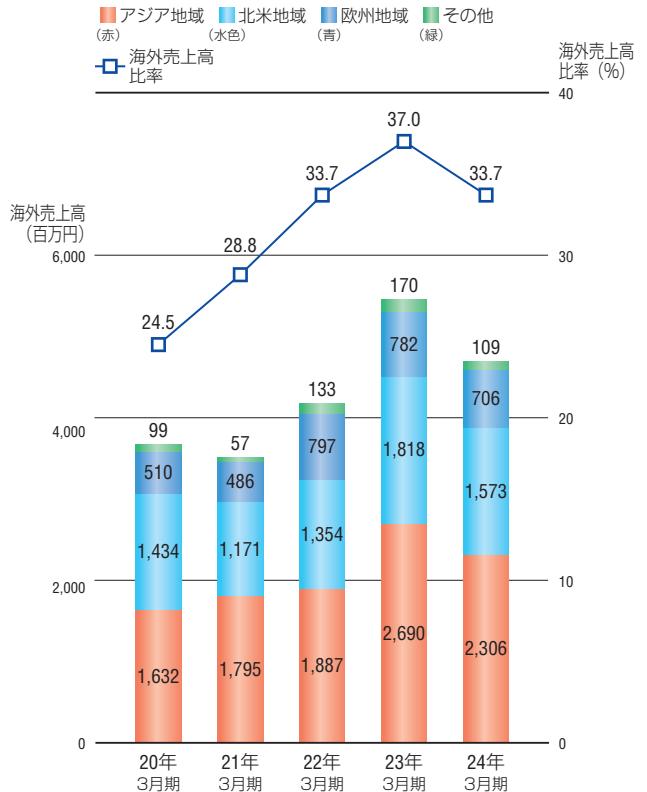


※25年3月期(予想)は、通期のみ示しております。

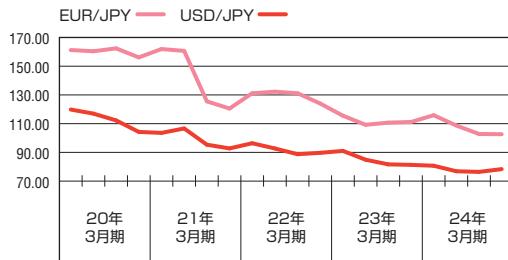
### 国内外売上高構成比（24年3月期）



### 海外売上高地域別構成比



### 為替レートの推移



当社は、感光材事業及び香料材料事業を中心に、直接的な海外売上は約4割弱、間接的なものを含めると、海外市場向け売上比率は約7割に達しております。その結果、当社の売上は、新興国を中心とする世界市場の伸びに助けられ、伸長してまいりました。しかし逆に、昨今の円高の影響を受けざるを得ない状況にあります。

当社としては今後とも、幅広い海外からの調達拡大、社内のコスト削減、高付加価値商品への転換等により、円高に対応していく所存でございます。

# Results of Operations

経営成績

## 貸借対照表ハイライト（連結）

(千円未満切捨表示)

	前期末 (平成23年3月31日)	当期末 (平成24年3月31日)
流動資産	8,023,243	9,960,581
固定資産	14,393,404	16,659,309
<b>資産合計</b>	<b>22,416,647</b>	<b>26,619,890</b>
流動負債	9,704,170	12,645,499
固定負債	6,495,173	7,418,319
<b>負債合計</b>	<b>16,199,343</b>	<b>20,063,818</b>
純資産	6,217,303	6,556,071
<b>総資産</b>	<b>22,416,647</b>	<b>26,619,890</b>

## 収益性指標ハイライト（連結）

(千円未満切捨表示)

	前連結会計年度 自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日	当連結会計年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高	14,759,113	13,952,115
営業利益	976,257	641,433
経常利益	789,245	524,841
当期純利益	421,441	384,916
フリーキャッシュフロー	1,514,266	△1,396,246

## 事業部実績

【感光性材料事業】売上高：6,827百万円（前年比△688百万円、△9.2%）

半導体用途向け感光性材料においては、スマートフォンなどの多機能携帯端末を始めとした電子機器の需要拡大が継続し、底堅く推移いたしました。液晶用途向け感光性材料は、欧米を中心とした液晶テレビの需要減速に伴うパネルメーカーの稼働率低下や、最終製品である液晶テレビの価格下落の影響を受け、売上・利益ともに低調に推移しました。電解液・イオン液体においては、精力的な需要開拓を進めております。

【化成品事業】売上高：7,124百万円（前年比△118百万円、△1.6%）

香料材料部門は、新興国を中心に需要は堅調に推移いたしました。第2四半期及び第3四半期に発生した歴史的な円高の影響を強く受け、売上・利益とも伸び悩みました。一方、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に市場開拓を進め、主に電子材料用途の需要取り込みにより売上高は好調に推移したものの、第1四半期及び第4四半期の原油高の影響に加えて、生産設備の定期修繕工事に伴う稼働率低下が、利益を押し下げる結果となりました。ロジスティック部門は、お客様満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準で維持することができ、利益率は向上いたしました。



### 感光材事業 スマートフォン、携帯電話や液晶テレビに使われる半導体の製造を支えています

感光材は、液晶テレビや半導体の製造工程で使用される微細構造を形成する材料であるフォトレジストの原材料になります（フォトレジストとは、感光材と溶剤等から作られます）。当社の感光材は高性能かつ高品質の製品として高い評価を頂いており、世界トップクラスのメーカーとして高いシェアを有しております。また、次世代型感光材の研究開発にも積極的に取り組んでおります。  
所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）



### エネルギー事業 燃費の向上やCO<sub>2</sub>削減に寄与する未来の液体

近年の省エネルギー化の推進を背景に、建機、港湾クレーン、風力発電機の補助電源として電気二重層キャパシタの搭載が進んでおります。当社では、この電気二重層キャパシタ用の電解液及びイオン液体の製造販売を行っております。イオン液体の使用は多くの分野で研究されており、環境負荷の少ないグリーンケミストリー用反応溶媒や安全で高性能な次世代電解質としての活用が望まれています。また、フォトレジスト用現像液TMAHの製造販売も行っております。  
所在地：千葉工場（千葉県香取郡東庄町）



### 香料材料事業 世界に広がる香りの素をつくる

食品（フレーバー）や化粧品（フレグランス）製品の単品香料を作っているのが、香料材料事業部です。食品や化粧品の香りは、何十種類もの単品香料を香料会社で調合し、1つの香りが作られています。当社ではその香りの素となる単品香料を世界各国の大手香料会社に販売しております。当社の単品香料は、香料として一番重要な“匂い”の安定性を特徴としており、国内外へ幅広く販売しております。  
所在地：香料工場（千葉県香取郡東庄町）  
市川工場（千葉県市川市上妙院）



### グリーンケミカル事業 地球温暖化、大気・水質汚染問題解決に貢献

有機溶剤は、電子・電気部品、自動車、製薬等の広範囲な分野で使用されており、使用後の廃溶剤の多くは再利用されることなく、大気への放出または燃焼処理が行われていました。当社では、お客様から使用済み廃溶剤を引き取り、蒸留・精製を行うことで新品同様に蘇らせております。当社は、特に高度な蒸留・精製技術が求められる半導体などの電子部品材料用溶剤のリサイクルで高い実績を誇っております。  
所在地：市川工場（千葉県市川市上妙院）



### ロジスティック事業 月間200隻の船舶と3,000台のローリーに対応

高浜油槽所において、大手石油化学メーカーや商社の液体化学品を船舶で受け入れ、一時保管し、タンクローリーで関東各地のお客様へ配送を行っております。受け入れ船舶は月間200隻、ローリーでは3,000台の出荷に対応できます。また、化学品メーカーとして長年培ってきた化学品の取り扱い、管理、分析の技術と最新の設備により、安全かつ環境にも配慮した万全の物流体制を整えております。  
所在地：高浜油槽所（千葉県市川市高浜町）



### 新規事業開発 ナノテク分野、バイオ分野の研究開発

ナノテク分野では、UVナノインプリント専用の樹脂を世界で初めて発売しました。ナノインプリントは、他の微細加工技術では困難な大面積加工が可能なため、次世代型加工技術として注目されています。  
バイオ分野では、㈱トランスバレントが「Cell-able™ Oncology」の販売を開始いたしました。  
抗がん薬の研究開発や、一人一人に最適な治療方法を選択する等、個別医療の場面での適用が期待されています。  
所在地：感光材研究所（千葉県印西市若萩）

# Homepage Information

ホームページのご紹介



当社ホームページをリニューアルいたしました。当社は、事業運営状況や投資家向け情報を公開するにあたり、Webを主要な手段の一つと位置づけて、随時更新を行っております。

当社の活動を投資家の皆様及びお客様に、より使いやすく、よりわかりやすいものとなるよう、従来のホームページから全面的に構成を見直しました。リニューアルした当社ホームページを、是非ご覧ください。



当社は、企業活動による地域環境負荷の低減に努め、企業活動を通じて地球環境の改善に貢献できるよう取り組んでおります。環境レポートには、当社の環境及び安全への取組みを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

※環境レポートは当社ホームページに掲載しております。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

# Corporate Movie

会社案内動画

各事業内容を紹介した動画を当社ホームページ上に掲載しております。この度、香料工場竣工に合わせて動画を更新いたしました。

私たち東洋合成工業の(1)沿革、(2)各事業内容、(3)研究開発活動、(4)品質管理方針、(5)環境負荷低減活動を、分かりやすい映像でご紹介しております。

東洋合成工業は投資家の皆様及びお客様の期待に応え、化学をベースに未来を見据えた新たな価値の創造に向けたチャレンジをこれからも続けてまいります。



# Factory Movie

## 工場紹介動画

多くの株主様からのご要望を受けまして、千葉工場（感光性材料事業）の動画を新たに制作し、当社ホームページ上に掲載しております。

私たち東洋合成工業の（１）千葉工場の概要、（２）千葉工場の主力設備の紹介、（３）生産工程の案内、（４）その他の主要設備の紹介を、分かりやすい映像でご紹介しております。

工場見学についてのご要望もございましたが、当社工場はクリーンルーム仕様のため、それに代えて、工場紹介の動画を掲載させていただきます。

今後も株主様を含めた投資家の皆様へ、当社の事業内容をより一層開示していく所存でございますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



# Stock Information

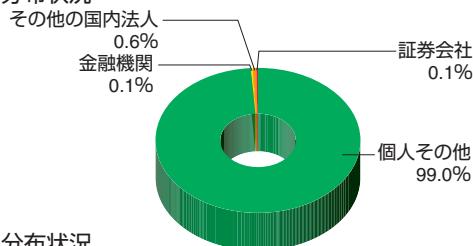
## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	30,000,000株
■ 発行済株式総数	8,143,390株
■ 株主数	9,641名
■ 大株主	

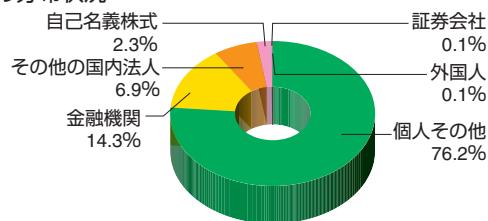
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
木村正輝	1,637	20.59
木村有仁	394	4.96
木村愛理	383	4.82
(株)千葉銀行	298	3.75
(株)東京都民銀行	298	3.75
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	248	3.12
(学)早稲田大学	200	2.51
東洋合成工業社員持株会	185	2.34
片岡文子	163	2.06
木村泰成	130	1.63

(注) 当社は、自己株式を190千株保有しておりますが、上記の株主名からは除外しております。  
また、持株比率算定においては、自己株式（190千株）を控除しております。

### ■ 株主の分布状況



### ■ 株式の分布状況



# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成24年6月20日現在)

■ 商号	東洋合成工業株式会社
■ 本店所在地	千葉県市川市上妙典1603番地
■ 本社	東京都中央区日本橋一丁目13番1号
(本社および営業部門)	日鐵日本橋ビル4F
■ 設立	昭和29年9月27日
■ 資本金	1,618,888,703円
■ 従業員数	417名 (平成24年3月31日現在)
■ 事業内容	1. 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売 2. 画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売 3. 電子表示機器の材料等の開発、製造並びに販売 4. 電池材料並びに電気二重層材料等の研究開発、製造並びに販売 5. 酵素蛋白、細胞を特定形状化するための感光性樹脂の研究開発、応用品の製造並びに販売 6. 化学機械・装置 (反応用機器、蒸留塔、抽出器、濾過器、乾燥機等) の設計、製作並びに設置工事 7. 前各号に掲げる物品の輸出および輸入 8. 倉庫業 9. 貨物運送取扱業 10. 前各号に付帯関連する一切の事業
■ 事業所	千葉工場 千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号 香料工場 千葉県市川市上妙典1603番地 市川工場 千葉県市川市上妙典1603番地 高浜油槽所 千葉県市川市高浜町7番地 感光材研究所 千葉県印西市若萩四丁目2番1号
■ 関係会社	株式会社トランスパレント TG Finetech Inc.

■ 役員	
代表取締役会長	木村 正輝
代表取締役社長	木村 仁夫
専務取締役	川村 繁
取締役	渡辺 宏一
	出来 彰
	島川 優一
	金子 順一
監査役	伊藤 衛一
	萩原 正誠
	宮崎 達三
	本間 達三

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
	*その他必要がある場合は、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.toyogosei.co.jp/ir/koukoku.html</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
株式の諸手続き	口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。 特別口座をご利用の株主様は、みずほ信託銀行株式会社0120-288-324 (フリーダイヤル) までお問い合わせください。

## 東洋合成工業株式会社

〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目13番1号 日鐵日本橋ビル4F  
TEL03-3548-4970 FAX03-3548-4961  
E-mail : [ir@toyogosei.co.jp](mailto:ir@toyogosei.co.jp)

